

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月14日
広島電鉄株式会社

2020年3月期 連結経営成績

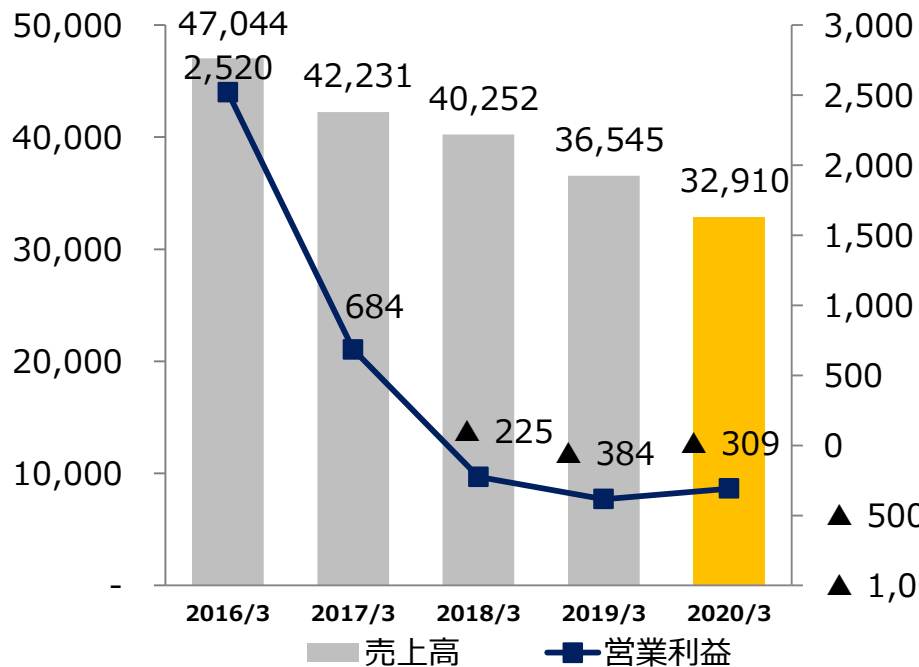
(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	36,545	32,910	△3,635 (△9.9)	2018年10月に(株)広電ストアのスーパー事業を事業譲渡したことによる大幅減収のほか、新型コロナウイルス感染症拡大による減収が影響 (4年連続減収)
営業利益	△384	△ 309	+75 (-)	流通業、建設業は増益となるも、不動産販売業の販売区画数減少や運輸業、レジャー・サービス業の新型コロナウイルス感染症拡大による減収が影響 (4年ぶり増益)
経常利益	△322	△ 290	+32 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	636	629	△6 (△1.0)	バス運行補助金の減少や法人税等の増加が影響 (4年連続減益)
1株当たり 当期純利益	20.98円	20.76円	△0.22円	

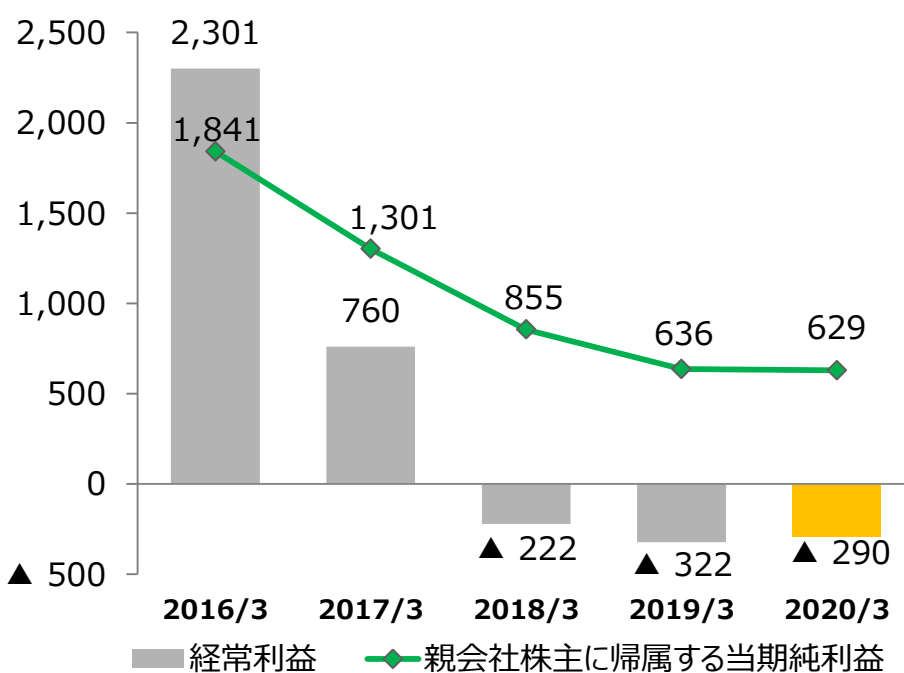
連結業績の推移

(百万円)

売上高・営業利益



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減	主な増減要因
流動資産	13,076	12,854	△222	工事前払金等の減少など
固定資産	75,681	76,976	+1,295	設備投資による有形固定資産の増加など
資産合計	88,758	89,831	+1,073	
流動負債	17,968	25,580	+7,611	短期借入金の増加など
固定負債	28,610	21,975	△6,634	長期借入金の減少など
負債合計	46,579	47,556	+977	
株主資本	17,191	17,645	+453	利益剰余金の増加など
その他の包括利益累計額	23,876	23,484	△392	投資有価証券の時価下落による その他有価証券評価差額金の減少など
非支配株主持分	1,110	1,145	+35	
純資産合計	42,178	42,275	+96	
負債純資産合計	88,758	89,831	+1,073	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,030	2,495	+465	法人税支払額の減少など
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,410	△2,867	△1,456	有形固定資産の取得（宮島口観光商業施設「etto」等）による増加など
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467	69	+536	有利子負債の増加など
現金及び現金同等物の増減額	153	△302	△455	
現金及び現金同等物の期首残高	4,163	4,316	153	
現金及び現金同等物の期末残高	4,316	4,013	△302	

セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	22,203	21,856	△347 (△1.5)	5月の大型連休や「平成30年7月豪雨」からの反動増により鉄軌道事業では増収となるも、呉エリアのバス路線再編による減収や新型コロナウイルス感染症拡大による影響により全体では減収
セグメント利益	△1,599	△ 1,682	△83 (+5.2)	原油価格下落に伴う燃料費の減少や廿日市市、呉市エリアのバス路線再編により運行コストは減少したが、新型コロナウイルス感染症の影響等による減収が上回り減益

セグメント別経営成績②流通業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	6,157	2,591	△3,565 (△57.9)	2018年10月に(株)広電ストアのスーパー事業を譲渡、2019年12月に宮島口もみじ本陣を閉店したことにより大幅な減収
セグメント利益	△80	28	+109 (—)	不採算事業（スーパー事業）の整理による効果により増益



セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,360	4,024	△336 (△7.7)	不動産販売業の「西風新都グリーンフォートそらの」住宅用地の販売区画数の減少が影響し減収
セグメント利益	1,180	1,266	+85 (+7.3)	不動産賃貸業の増収および新規取得物件（2018年度 hitoto広島ナレッジスクエア、旧広電ストア物件）の取得時諸費用の減少により増益

セグメント別経営成績④建設業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	3,812	4,790	+977 (+25.6)	当社グループ向け工事のほか、宮島口地区港湾整備事業や砂防堰堤工事等の公共工事の受注増加が影響し増収増益
セグメント利益	61	188	+127 (+206.4)	



セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

(百万円)

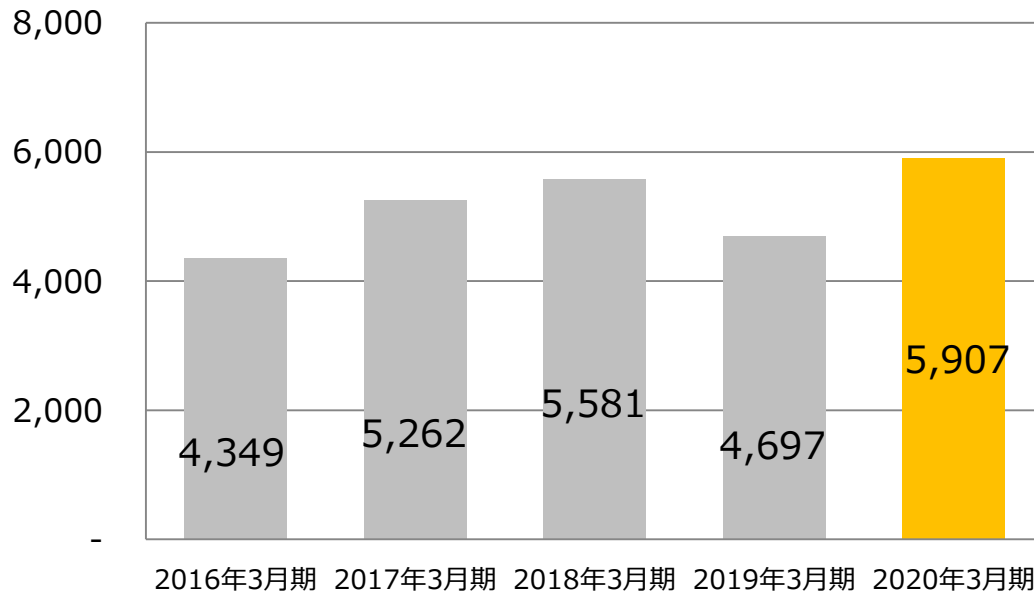
	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,901	1,787	△113 (△6.0)	ホテル業の修繕工事による営業休止や、新型コロナウイルス感染症の拡大による宿泊客の減少や宴会自粛の影響により減収減益
セグメント利益	46	△9	△56 (—)	

設備投資の状況（連結）

設備投資額

(百万円)

主な設備投資



5200形グリーンムーバー-APEX 2編成購入
760百万円

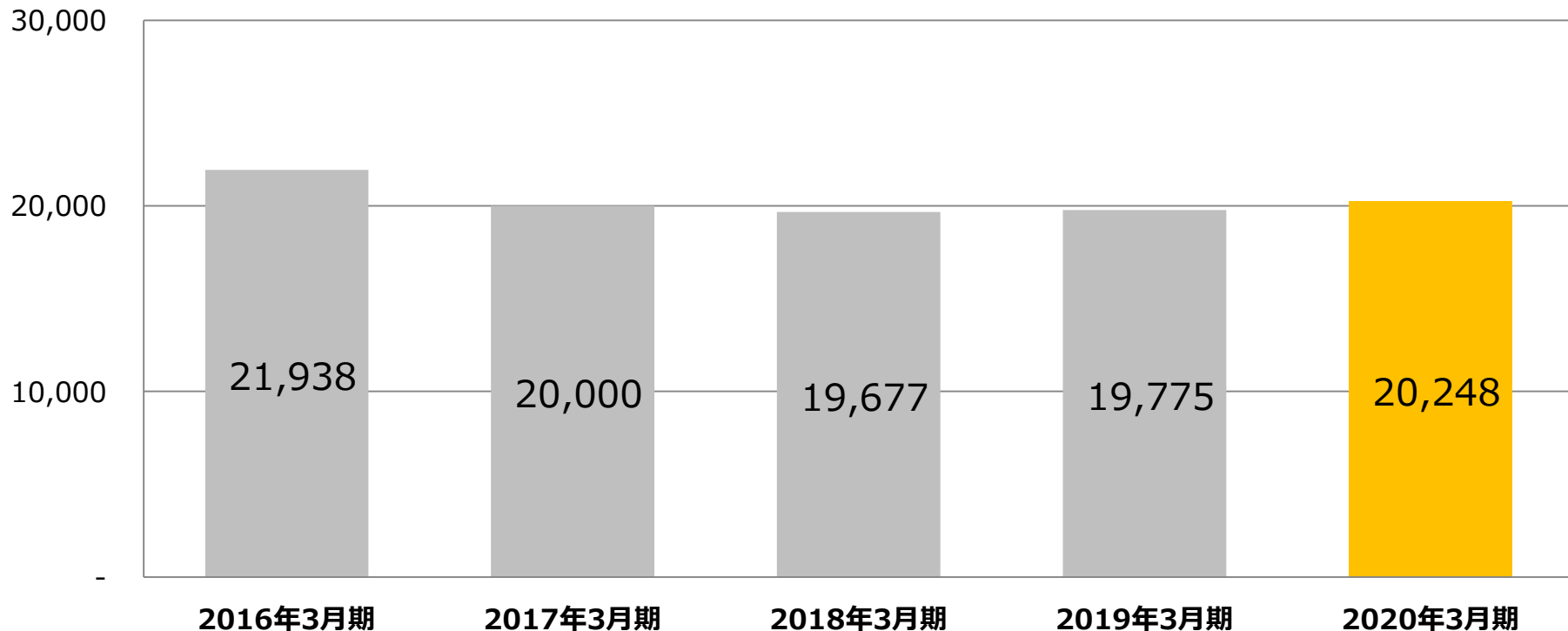
1000形グリーンムーバー-LEX 2両購入
609百万円

自動車事業用車両32両購入
822百万円

宮島口観光商業施設「etto」新築
1,270百万円

有利子負債の状況（連結）

(百万円)



2020年度の主な設備投資予定（連結）

電車

	導入数	金額
5200形グリーンムーバー-APEX	2編成	880百万円
宮島口整備事業（新駅舎関連工事） ※2022年3月竣工予定		690百万円
広島駅前大橋ルート基本実施設計 ※2025年度竣工予定		236百万円

自動車

	導入数	金額
自動車事業用車両購入	30両	806百万円
広島北営業所新築工事 ※2021年9月竣工予定		292百万円



広電宮島口駅新駅舎（イメージ）

○2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）について

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の収入等が極めて不透明であり、業績予想の合理的な算定が困難であることから、現時点では未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542